

No.1949

2月8日例会 プログラム 「よもやま話」 三宅 照正君

2月15日例会 プログラム 「世界経済を考慮に入れた投資の仕方」 野村證券(株) 岡山支店 次長 玉井 常裕様

2月8日のメニュー ・ロールキャベツ・小エビのクリーム煮・フグのナンバン漬け・山菜いなり・カモそば・コーヒー

前回(2月1日)例会記録

出席報告	会員総数	36名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	25名	欠席者数	9名	出席率	73.53%	前回補正率	100%
	前回補正者	藤原君 花岡君 井上君 三宅(孝)君 仲田君 中山君 大久保君 白石君 立石君 山田(次)君								
	欠席者	藤原君 花岡君 林君 井上君 仲田君 中山君 大久保君 谷口君 山田(次)君								

会長挨拶

1月27日のIMに、全員登録と多数のご出席ありがとうございました。今回のテーマは“ロータリーに若い力を、会員増強・楽しい例会”と言う事で、特別講演とパネルディスカッションがありました。パネルディスカッションでは、榎田前会長が玉野ロータリークラブの代表として、とても素晴らしい発表をされました。又、特別講演は、京都大学霊長類研究所の正高信男教授が“今時の若者たち”と題しまして講演されました。最近の若者は、少子化のせい、ストレスに晒されておらず、社会に出た途端に、ちょっとしたストレスに耐えきれず、挫折してしまうそうです。又、小林完治コーディネイターは、サミュエル・ウルマンの言葉の中から、次の言葉を示しておられます。

“若さとは、人生のある時期の事ではなく、心のあり方だ”

“人は歳月を重ねたから老いるのではない。理想を失う時に老いる”

いずれも、味わい深い言葉だと思います。最後になりましたが、榎田正則パネリストから一言お願い致します。

榎田正則パネリストより

パネリストとしてIMに参加致しましたが、打ち合わせを重ねるにつれ、だんだんテーマが小さくなって、当たり触れない話になってしまいました。ただ、その中で「食の問題」地元の地産地消を話したのですが、その2日後に中国の餃子問題が出て「やったー」と思いました。皆さんじっと辛抱強く聞いて頂きましてありがとうございました。

会長報告

- ・ 昨日、周年実行委員長をはじめ、9人で大阪リバーサイドロータリークラブを例会訪問して参りました。松井会長、富道雄様をはじめ、皆様からの温かい歓迎を受けました。周年ご出席の願いをして参りました。
- ・ 先日、岡山のRCの紹介をしましたが、岡山県には現在、39のクラブがありまして、牛窓が一番新しいと紹介致しましたが牛窓は28番目で39番は倉敷中央RCでした。訂正してお詫びします。
- ・ 本日は2月第1例会ですが、理事・役員会は来週、2月8日に延期します。

幹事報告

- ・ 第2690地区IM実行委員会より、IM全員登録と参加に対しお礼状が届いております。
- ・ 第2690地区第10及び第11グループのガバナー補佐とIM実行委員長より、IM反省会のご案内がパネリストの榎田前会長宛に届いております。
- ・ 森下ガバナー事務所より、「友」インターネット速報が届いております。
- ・ 鳥居ガバナー・エレクト事務所より地区協議会開催のご案内が届いております。出席者は次期会長、次期幹事、次期クラブ奉仕委員長、次期職業奉仕委員長、次期社会奉仕委員長、次期国際奉仕委員長、次期ロータリー財団委員長ですので、該当者皆様方のご出席をお願い致します。

日時：2008年4月20日(日) 受付：10:30～ 本会議：11:00～

会場：岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)

- ・ 他クラブの週報と例会変更通知については回覧させていただきます。

委員会報告

- ・ 出席委員会（三宅照正委員長）：1月度 100%出席者、26名でした。ありがとうございます。
- ・ 親睦・家族委員会（三宅孝治委員長）：《誕生日祝》林君 15日 《結婚記念祝》近藤君 3日、三宅(照)君 3日

スマイル・ボックス

- ・ 松尾会長 - 大阪リバーサイド RC 訪問ご苦労様です。 IM ご苦労様でした。 立石様、お帰りなさい。
- ・ 白石君 - 昨日、山田先生にお世話になりました。 本日卓話。
- ・ 槌田君 - 1月27日の IM のパネリスト、つたない話でしたが、無事済みました。ありがとうございました。
- ・ 東川君 - IM パネリストお疲れ様でした。
- ・ 立石君 - 長期欠席。
- ・ 石川君 - 立石さん、お帰りなさい。
- ・ 宮原君 - 入会月（1月）、その他。
- ・ 三宅(照)君、近藤君 - 結婚月。
- ・ 緋田君 - 遅れの入会月。 前々回欠席。
- ・ 藤田君 - 入会月。17年目に突入。 富永さんありがとう。

プログラム 「日本の造船業の世界進出について」 白石 富喜太君

1) 2007年の新造船受注量

1月～9月で約1億2000万総トン、日本はその内約1700万総トン。
韓国と中国が圧倒的な強さ。

2) 中国の粗鋼生産が2002年の1億3000万トンから昨年は4億9000万トンに。

このため鉄鉱石、石炭の輸送量が伸び、オーストラリアからブラジルと距離も伸びた。

3) 日本の造船業の海外進出

(1) 修繕業

尾道造船 コロンボ（セイロン）
名村造船 タイのユニタイシップヤード
三菱重工 ベトナムへ計画中

(2) エンジン工場

三井造船 中国上海にフートンと共同で「上海中船三造ディーゼル」
三菱重工 中国青島に「青島三菱バルチラディーゼル」

(3) 造船所

川崎造船 南通に COSCO と共同で NACK
辻 産業 中国張家港にブロック工場と造船所
船山島に造船所建設
常石造船 中国船山群島 秀山島
フィリピン セブ島